

華為技術有限公司

～企業文化に関する分析～

韓 淑 晶

(1) ケーススタディの意図

企業文化のコア・コンピタンスには直接的および間接的な効果がある。まず、企業文化は企業の精神的資源であり、科学的で合理的な企業文化は企業のコア・コンピタンスになり、企業の発展を促進する。第二に、企業文化は精神的な要素であり、他の資源との組み合わせにより、実現され、外の世界に伝達される。したがって、企業文化は企業ブランドおよび人事管理等の要素と組み合わせ、企業文化を企業の日常経営管理に適用することにより、企業文化を外部へ伝達する。

中国のファーウェイは効果的に「狼性文化」を導入している。ファーウェイは、「狼性文化」の本質を取り入れ、開発に適した文化を企業に統合する。しかも、現在、ファーウェイの業績は業界の最前線である。そこで、本ビジネス・ケースは、ファーウェイを例として、文献分析、事例分析とアンケート調査という3つの調査の研究手法により、コア・コンピタンスの観点からファーウェイの企業文化構築の意味と改善戦略を探求する。他の企業にとって、企業文化構築における参考になるケースを作成したい。

本ビジネス・ケースは、まず第一章では、通信機器産業の発展経緯と現状の紹介を行う。次に第二章では、本ビジネスの題材であるファーウェイの企業概要を述べる。その後、第三章ではファーウェイの発展に伴う環境分析を行う。具体的には、外部環境及び競争分析、内部資源分析である。更に、第四章では、ファーウェイの企業文化の発展及び特徴を分析する。最後に、第五章では企業文化に関するアンケート調査を行い、企業文化の重要度を分析する。

(2) ケースを用いたディスカッションにおける論点

1. なぜファーウェイは急成長できたのか？
2. ファーウェイの企業文化はどのような競争優位性があるのか？
3. ファーウェイはどのような方法で企業文化を強化したか？

(3) ケースに設定される設問とその意図

1. 企業文化構築にはどのような競争優位性があるのか？
2. ファーウェイの企業文化は他の企業にどのような影響があるのか？
3. 変化の激しい時代において、ファーウェイの基本法を変更すべきなのか？